

5月より1年生の指導も始まり、徐々に学習への姿勢も身に付いてきています。答えが分かたら静かに手を挙げる、名前を呼ばれたら返事をして発表をすることを意識して、日々活動に取り組んでいます。また、マイスタディでは5月中旬より、個人面談を行いました。ご多用の中、出席いただきましてありがとうございました。保護者の皆様と直接お会いして話をする事で、思いや願いなど受け止めさせていただきました。今後の指導に生かしていきたいと思ひます。

今月のMy Study だよりでは、宿泊行事についてお話しします。学校には宿泊行事があり、8月には5年生の林間学園、10月には6年生の日光移動教室があります。ほとんどのお子さんが宿泊行事を楽しみにしているかと思ひますが、中には不安を感じているお子さんもいらっしゃると思ひます。時期が少し早いかもしれませんが、今回は、見通しをもち安心して迎えられるように、**宿泊行事を楽しむための工夫**について紹介します。

## \*宿泊行事に行くときに、次のような心配や不安があるようです。

- 天候によって日程が変わることがあり、急な予定変更不安を感じる。
- 家族と離れて生活するので、不安で部屋に入りにくい。
- 夜、なかなか寝られなくて、夜遅くまで起きてしまうかもしれない。
- 身の回りの片付けが苦手だから、集合時間に間に合うか不安。
- トイレやお風呂がいつもと違うから心配。



上記のような行動の理由と支援方法をまとめてみました。

理由	支援方法
① 寝る布団や枕、環境が違うことが心配で眠れない。	① いつも使っている安心グッズなどがあれば、学校の了解を得て一緒に持たせてあげる。
② 普段と違う行動をするので、見通しがつかないから気持ちが落ち着かない。	② 事前に見通しがつけられるように、映像で見せたり、休日を利用して現地に行って、下見をしたりする。
③ 親や家族と離れて生活するのが不安。	③ 学校と相談して、どうしても必要があれば保護者と連絡が取れるようにする。
④ 自分の物をどう用意したり、片付けたりすると良いのか分からない。	④ 行程に合わせて荷物を小さい袋にまとめたり、使いやすくしたりする練習を試みる。
⑤ トイレやお風呂など、いつもと違う場所だから心配。	⑤ 家とは違う場所でトイレやお風呂に入る体験を試みる。

上記のように、その子に合った方法で支援をしていくことで、不安や心配事が軽減し、楽しい思い出を作ることができると思ひます。特別支援教室では、子どもたちの不安の理由を探り、本人や保護者と相談をしたり、在籍学級の担任とも都度連携したりしながら、必要に応じて事前学習を行います。子どもたち一人一人が宿泊行事で、楽しい思い出がつかれるように支援をしていきます。



特別支援教室マイスタディ担当教員一同  
特別支援教室マイスタディ専門員